

北久原 公民館だより秋号

第216号

紫色のウラジロモミの球果（北斗市 シミック植物園）

令和八年度の敬老会が、九月十三日公民館で開催されました。「猛暑」「酷暑」を心配して、多目的ホールではなく、会議室を会場として準備が進められましたが、今年は小雨模様の涼しい一日となりました。



令和八年度北久原区敬老会

今年度区内の敬老対象者は三百四十二名。そのうちの百二十四名が出席して下さいました。

今年度は下合組の中澤京子様が白寿を迎えられ、区よりお祝いの品が事前に贈呈されました。また、米寿を迎えられた方が八名おり、出席して下さった二名の方に区長よりお祝いの品が手渡されました。

その後、アトラクションとして「めおと楽団ジギジギ」のお二人により愉快なステージが繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。なかでも「おでこでのピアノ演奏」や「お椀と茶碗の『聖者の行進』の演奏」に、会場内は驚嘆と爆笑の渦に包まれました。



令和八年度 北久原芙蓉教室 第三回・第四回

タイルアート教室

第三回の芙蓉教室は「タイルアート」の製作です。昨年度は「コースター」などを作りましたが、今年度は「フォトスタンド」です。今年も講師は裾野市にお住いの金井数江先生にお願いしました。金井先生はアシスタントとして添田洋子先生を伴ってきて下さいました。



タイル選びのアドバイスをする金井先生



巡回してアドバイスをする添田先生

思い思いに色とりどりのタイルを選んだ後、席に戻りいよいよ作り始めます。配置に悩んだりしていると、お二人の先生が巡回してアドバイスをして下さいました。今年度はボンドで貼り付けるだけなので、去年よりも手間がかからずに製作出来ました。

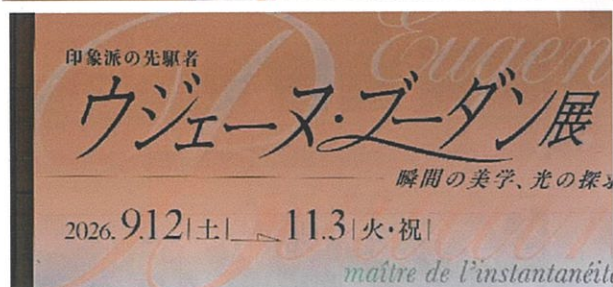
このフォトスタンドに、さまざまな機会に撮影したスナップ写真を入れて、報徳文化祭に出品する予定です。会場にお越しの際は是非鑑賞してみてください。



斬新なデザインのもの、カラフルなタイルをちりばめたものなど、さまざまなフォトスタンドが完成しました。作り終えると作品と一緒に笑顔の記念撮影会です。

社会科見学

十月六日、好天に恵まれて社会科見学に出掛けました。今回は「芸術鑑賞」と「体験学習講座」です。まずは東富士五湖道と中央高速道路を乗り継いで、山梨県立美術館に向かいます。見学時間が一時半と聞いて、そんなに見るものがあるのかというひそひそ声も聞かれました。山梨県立美術館と言えば「ジャン・フランソワ・ミレー」のコレクションで有名ですが、この時期「印象派」の先駆者である「ウジェーヌ・ブーダン」の特別展が開催されていました。



講堂で説明を受けた後、思い思いに散らばって見学を始めました。多くの人は講堂に近かった「ブーダン」の展示室から鑑賞を始めましたが、非常に素晴らしく見ごたえのある作品が並んでいたもので、一つ一つをじっくり見ていると、あっという間に時間が過ぎてしまいました。そのため、この美術館の「ミレー」の展示室に着いた頃にはもうあまり時間が無くなっていました。



美術館の方が「種をまく人」などミレーの代表的な作品について、丁寧に解説を下さいましたが、集合時間に遅れそうで気もそぞろになってしまいました。甲府ならまた来ることも可能なので、今度はじっくり見たいものです。

昼食後、二つ目のテーマ「体験学習」の会場に向かいました。場所は笛吹市にある「御坂農園グレイプハウス」です。ここで、「ブドウジャム作り」を体験します。まず食べ放題のブドウ狩りを楽しみましたが、昼食直後ということで、それほど食べることが出来ませんでした。ハウスに戻り「藤稰」という品種のブドウを使ってジャム作り開始です。



最初はあまり美味しそうに見えませんでした。煮詰めてレモン果汁を加えると紫色のきれいなジャムが完成しました。家に帰って試食すると想像以上の美味しさでした。

北久原区民親睦グラウンドゴルフ大会



絶好の秋晴れに恵まれた十月十一日、令和八年度第二回区民親睦グラウンドゴルフ大会が、愛郷報徳会館グラウンドで開催されました。この日は九十二歳の大ベテランから小学生まで、約八十名の区民が参加しました。北コースと南コースのそれぞれ八ホールでプレーし、少ない打数で優勝を争います。

この日大活躍したのは、最高齢参加者の米澤光二郎さんでした。北コースの七番ホールと八番ホールで連続ホールインワンを達成し、男子総合第三位となりました。一方女性最高齢参加者の田代典子さんも、見事ホールインワンを決め記念写真に納まりました。

男子優勝	武藤 勇	(横通り)
準優勝	田代伸男	(中組)
第三位	米澤光二郎	(下合)
女子優勝	石原裕貴子	(八幡通り)
準優勝	服部松代	(上組)
第三位	安藤とよ江	(下合)
小学生の部		
優勝	中田 橙真	(下合)
準優勝	遠藤 塁	(下合)



小学生



第3位



準優勝



優勝

9月12日 軍人墓地参拝



小雨が降り続く中、お彼岸の軍人墓地参拝が行われました。ウクライナ・パレスチナ・ペルシャ湾等いつ平和な毎日が訪れるのでしょうか。

9月17日
楽生会奉仕作業



楽生会の方々が、公民館花壇の除草をして下さいました。これから植物は種を実らせる頃、しかし、その前に除草していただいたことで、雑草が減るといいですね。

10月15日
北久原浅間神社例大祭



9月21日～30日
秋の交通安全運動



9月21日 報徳管内親善グラウンドゴルフ大会



この大会では北久原区のチームが、優勝と準優勝に輝きました。また、下合組の中村始選手がベストグロス賞を獲得しました。

雨がひどくなりテントの下での表彰式

いきいきサロン

八月 輪投げ大会

今月は恒例の輪投げ大会を行いました。



優勝したのは神合組の吉崎みね子さん。吉崎さんは昨年度も優勝しており、二連覇を達成しました。二位は島口さん。三位は高橋さんという結果でした。

九月 手工芸作品作り

報徳文化祭に出品する手芸作品『羊の飾り物』をみんなで作りました。担当の杉崎洋子さんをはじめとして、スタッフの方々が細かい準備をしてくれました。



報徳文化祭の会場で見てくださいね。



九月のサロンには六名のこどもたちが参加してくれました。指先を使って「ペタンペタン」、花火の絵が完成しました。



十月のサロンは、長く雨模様の日が続いた後の秋晴れに恵まれた日でしたが、他の行事と重なったのか、四名のお友だちで遊びました。ハロウィンのお化けの絵を描きました。



こんにちは！地域包括支援センターです

高齢者虐待防止

厚生労働省の高齢者虐待調査で、虐待の介護者側の要因は、介護疲れ・ストレス、知識や情報の不足が大きな要因となり、虐待を受けた側の要因としては、認知症の症状や身体的自立度の低さが大きな要因となっています。

この結果から、認知症の進行で、介護する家族の負担が大きくなり、上手く家族内の介護調整や介護サービスにつながらない家庭で、高齢者虐待につながる可能性が高くなるように思われます。

認知症本人や、介護する家族の周囲の人が声をかけて、地域包括支援センター等の機関へつなげることが、高齢者虐待を防ぐひとつの方法になると思います。



こまった時には「ほうかつ」へ相談

御殿場市地域包括支援センター
御殿場十字の園

☎84-5950

北久原を住みよい街に

九月下旬に「秋の交通安全運動」が行われ、御殿場市交通安全協会北久原分会の皆さんが、街頭交通安全指導・無事カエル作戦・警察署の環境整美などを行って下さいました。また、道路交通法が改正され、幹線道路を除く区内のほとんどの道路の制限速度が三十キロとなりました。皆さんがこの速度を遵守していただければ、交通事故はかなり少なくなるとおもいますが、自分の経験でも三十キロの走行というのは強く意識しないと難しく、気が付けば四十キロ・五十キロの速度で走ってしまっています。特に通学路の子どもたちの安全を守るためにも速度を意識して走るようにしましょう。

九月には、長く雨の日が続いたためか、植物がとても元気になり、歩道部分にまではみ出している箇所を見かけます。子どもたちがセンターライン寄りにはみ出して歩かないで済むように、家の周囲の点検をお願いします。高齢化が進み、中には自力で家の周辺の環境整備が出来ない家庭もあるのではないのでしょうか。そういう時は、御殿場市シルバー人材センターなどに相談し

てみるのも一つの方法だと思います。

編集後記

表紙の写真は、山梨県北斗市にある「シミックハケ岳薬用植物園」で見つけた「ウラジオモミ」という樅の木、いわば「松ぼっくり」のような球果です。美しい紫色で何枚もシャッターを切ってしまいました。この植物園には、韓流の歴史ドラマに登場するような、さまざまな薬草が育てられています。研究のための施設なので入場無料です。また「薬草観察会」や「栗拾い体験会」「野生きのこ鑑定会」なども開いてくれます。標高九百五十メートルという高所にあるので、夏でも涼しく過ごせます。訪れる人も少なく、静かにハーブや薬草の花々を鑑賞できるので、毎年一度は訪れています。

今年は稲刈りのシーズンに雨の日が多く「コメ作り」をなさっている方々は、さぞかし苦労したことでしょう。今年の出来栄えはいかがでしたか。美味しい「御殿場コシヒカリ」を期待しています。

(伊藤 記)

北久原区公民館

住所 御殿場市北久原四八三―一

電話 〇五五〇―七八―六八八八

FAX 〇五五〇―七八―六八八〇

モルック大会



最初に登場したのはAチーム。予選リーグで「東山区」と「湯沢区」と対戦です。若さで勝る東山区との対戦は比較的楽に勝利を収めることができましたが、小学生女子もメンバーに加わった湯沢区との試合は大苦戦。何とか勝利し、一位で決勝トーナメントに進出しました。

若い体振メンバーが中心のBチームは、



昨年までこの時期に開催されていた御殿場地区の大会は「ソフトボール大会」でしたが、今年から「モルック大会」が開催されるようになりました。

九月二十七日、御殿場市体育館の第一体育室で開催されたこの大会には、十二の区から二十二チームが参加し、初代チャンピオンの座を争いました。

北久原区からは「A協議員チーム」と「B体育振興会チーム」が参戦しました。

永原区・湯沢区・東山区と四チームでリーグ戦です。どの試合もフルセットに持ち込まれた大接戦でしたが、序盤は紅一点「関選手」が大活躍をし、三試合とも勝利してこちらも一位で決勝トーナメントに進出しました。

抽選の結果、両チームとも勝ち上がれば準決勝で対戦する組み合わせとなりましたが、Aチームは御殿場区に敗れ、決勝トーナメント初戦で敗退。一方、若さのBチームは、湯沢区・二の岡区に勝ち、準決勝に進出。Aチームが敗れた御殿場区と対戦することになりました。何とか仇を取ってほしいところでしたが、痛恨の計算ミスをしてしまい、つかみかかっていた勝利を逃してしまいました。(モルックはジャスト五十点を取れば勝利しますが、オーバーしてしまうと得点が二十五点になってしまいます。)北久原の二チームを破った御殿場区が見事優勝したので、どちらかが勝っていればという悔しい結果となりました。気落ちしたBチームは、三位決定戦でも西田中區に勝ちを譲り、北久原としては珍しい賞状のない大会となりました。



終始安定した力を
発揮した勝又選手